

市民の声を生かした市営運営を

右から伴総務部長、正木副市長、山岡光広・小西喜代次・岡田重美各議員、西山実党市くらし・福祉対策責任者



日本共産党が市に申入れ



市民から寄せられたアンケート

- ◆高齢者が増えていく。有権者の3人にひとり。年金・医療・介護、高齢者が住み良いまちづくりの政策をど真剣に考えてほしい。
- ◆消費税をなくす。介護保険料は若い時にたくさん支払い、65歳からはただにお金がないので。65歳以上は1割負担、それ以外は3割負担。公務員はなんでも民間委託にせずに自分たちで仕事をしてください。
- ◆学校の給食は公費で。森林資源の活用、森林組合の大改革、小中高学生の学力向上。
- ◆住んでいる地では何も買うところがない。外に出かけやすい環境にしてほしい。この辺は全く忘れられた地域と認識している。
- ◆一番の基本政策は子どもを増やすこと。
- ◆定年退職後は年金受給までの生活が苦しい。夫婦ともパートで働いても健保、国保他支払いで急に年収が減る。かといって働き口も少ない。退職後から65歳までの間の生活見直してほしい。
- ◆男女同権の地域自治にするべき。協議委員を男女同数に。
- ◆小中学校の統廃合は慎重に考えてほしい。
- ◆歩道の整備、通学道路の整備、電柱の地中化（まずモデル地域から）。道路を広げてほしい。右折ラインを増やしてほしい。
- ◆コロナで収入が下がり苦しい。市としての対策を。

日本共産党甲賀市委員会は、5・6月に市内に全戸配布し「コロナ危機からのちと暮らしを守る緊急アンケート」を行いました。第1次分の集約を行ない、15日市長あてに、寄せられた市民の声を市政運営に生かすことを求める要望書を提出しました（写真）。

アンケートには切実な願いや貴重な意見が多く寄せられました。これらの願いの実現へ全力を尽くします。前号のニュースでは設問の集計を掲載しましたが、今号では、自由記載に寄せられた意見などについて一部紹介いたします。

滋賀4区市民の会街頭演説会

「四区市民の会」主催による街頭宣伝が17日、水口西友前で行われ、日本共産党、立憲民主党、社民党、各団体から訴えが行われました。日本共産党から山岡光広議員が訴えました。



総選挙 市民と野党の共闘で政権交代を

新型コロナ ワクチン

国からのワクチン配分減少 接種完了は11月末となる見込み

菅首相がコロナ対策の切り札と位置付けるワクチンですが、6月中旬ごろから全国各地で自治体向けの供給量が大幅に減ってきています。13日に開催された厚生文教常任委員会では、甲賀市でもワクチンの提供が制約され、当初予定していた10月末での接種完了は、11月末となる見込みとの説明がありました。

ワクチン配分 *10月以降は配分数がさらに減少する見込み

| | 月 | 箱数 | 接種可能人数(2回接種) |
|----------|-----------|-------|--------------|
| 確定分 | 7/19日まで累計 | 62.25 | 35,810人 |
| 国からの配分予定 | 8月 | 11 | 6,435人 |
| | 9月 | 10 | 5,850人 |

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2021年 7月25日 第366号



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町勅旨 456
Tel 83-0765
Fax 83-0765



岡田 重美
土山町南土山甲
78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696